

【OIE 情報】中国（湖北省）における口蹄疫（A 型）の発生について

中国（湖北省）における口蹄疫（A 型）の発生について、2015 年 5 月 10 日付けで OIE へ報告がありましたのでお知らせいたします。

【出典】

OIE ウェブサイト（2015 年 5 月 10 日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=17699

（OIE 情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：1 件（続報 13）
- ・発生日：2015 年 5 月 1 日
- ・OIE への報告日：2015 年 5 月 10 日
- ・血清型：A 型

【発生状況】

- ・発生場所：湖北省 荊州市 公安県の農場

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
豚	179	25	0	179	0

【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中
- ・ウイルス系統：SEA 97 G2

【対応】

- ・淘汰
- ・隔離
- ・国内における移動制限
- ・スクリーニング
- ・発生に対応したワクチン接種を実施
- ・ゾーニング
- ・施設等の消毒
- ・患畜を治療対象としない

行政区域	動物種	接種頭数
雲南省	牛	141,955 頭
	羊	37,928 頭
チベット自治区	牛	1,779 頭

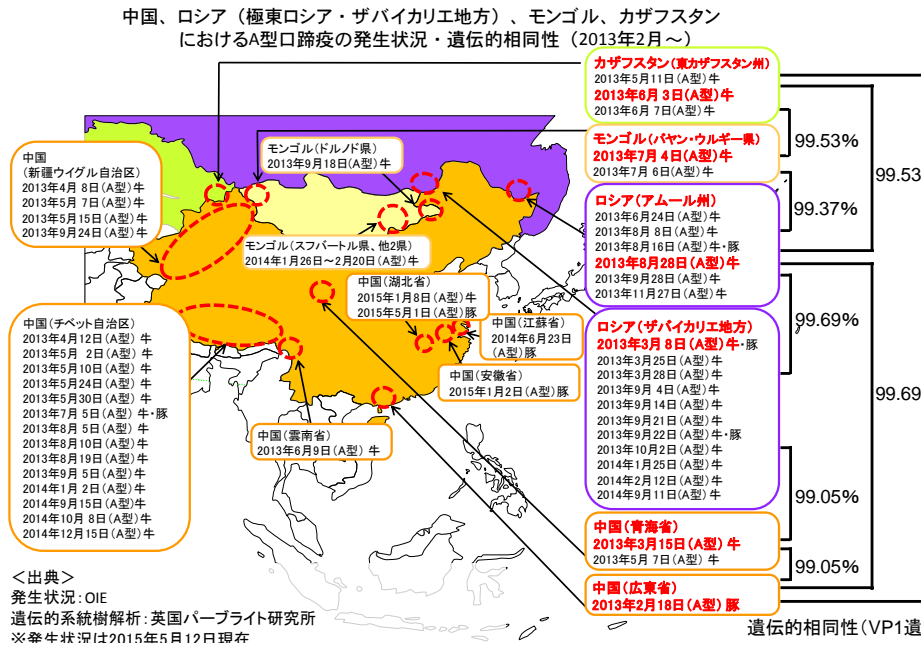
【診断】

- ・診断施設：蘭州獣医学研究所（OIE リファレンスラボラトリー）
- ・診断法：RT-PCR、ウイルス分離（いずれも陽性）
- ・確認日：2015 年 5 月 6 日

(1) 遺伝子型に関する情報

中国広東省（2013年2月18日）、中国青海省（同年3月15日）及びロシア ザバイカリエ地方（*）で発生したA型口蹄疫のウイルス株について、英国パーブライツ研究所（OIE リファレンスラボラトリー）で遺伝子の系統樹解析が実施された結果、99%以上の相同性があったと報告されている。

*）パーブライツ研究所の報告書では、データ収集日が2013年3月1日と記載。一方、OIEの発生報告では同年3月1日発生の記載はないが、株名の情報から同年3月8日発生と同一株について解析されたと考えられる。



(2) ロシア（極東ロシア・ザバイカリエ地方）でのA型口蹄疫に関する情報

- ・OIE報告によると、ロシア ザバイカリエ地方の発生地区は、中国国境付近に位置し、口蹄疫ワクチン接種を行う緩衝地域に指定されている。
- ・OIE報告によると、ロシアアムール州での発生は、中国国境から15m(2013年6月24日)、約15km* (同年8月8日)、約2km* (同年8月16日)、約30km* (同年8月28日)、約20km* (同年9月28日)及び約24km* (同年11月27日) (* : OIE報告から推定)の位置。
- ・ロシアでは、国境地帯に口蹄疫ワクチン接種を行う緩衝地域を設定し、牛及び小型反芻動物に対して、A、O及びAsia-1型の混合ワクチンを接種している（ロシア連邦動植物検疫監督局ウェブサイト情報より）。

(3) 中国でのA型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

乳牛及び種雄牛並びに広西チワン族自治区、雲南省、チベット自治区、新疆ウイグル自治区及び新疆生産建設兵団の辺境地域における全ての牛及び羊が、A型口蹄疫ワクチンの強制接種対象となっている。

(4) カザフスタンでのA型口蹄疫に関する情報

OIE報告によると、カザフスタン東カザフスタン州の発生地区は、中国新疆ウイグル自治区との国境付近に位置している。カザフスタン当局は発生を受けワクチン接種を実施。

（参考情報：口蹄疫（A型）に関する中国農業部の対応関連情報）

当省ウェブサイト以下に以下の情報を掲載しています。

- ・中国のA型口蹄疫対応について（機械翻訳に基づく仮訳）
URL: http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/pdf/130514_china_moa_fmd_a.pdf
- ・中国の家畜の伝染病に対するワクチン接種計画について（仮訳）
URL: http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/pdf/china_vaccine.pdf
- ・中国の動物伝染病モニタリング・疫学調査計画（仮訳）
URL: http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/pdf/china_survey.pdf

